



シロモチくんとゴーちゃんが語る津市政 vol.40

公共施設の活用や長寿命化に 取り組んでいます

～今ある施設を使いながら、新しく快適に～

人口が増加していた時代に建てられた多くの公共施設が老朽化しており、人口が減少に転じた今、どのように施設の改修・建て替えなどをしていくのかが全国的な課題となっています。この難しい課題への津市の取り組みについて、ゴーちゃんがシロモチくんに尋ねました。

最近、津市のあちこちで、古くなった公共施設を見かけるんだけど、今後はどうなっちゃうの？

津市の公共施設は建ててから30年を超える施設が全体の60%を超えていて、何とかしないといけないんだよ。そこで、平成28年度に「津市公共施設等総合管理計画」を作ったんだ。



その計画ってなに？古い施設は全部建て替えたらダメなの？

その計画の中では、施設を建ててから30年経った時点での大がかりな改修、60年経った時点での建て替えにかかる費用をシミュレーションしてるんだけど、計画を作るまでの過去10年で津市が改修・建て替えなどの施設整備にかけてきた費用の2倍弱の費用がかかってしまうから、全部建て替えるわけにはいかないんだ。

その費用は何かならないの？

まず、津市の人口は減り続けていて、高齢化も

進んでいるんだ。そうすると施設を利用する人も減るだろうし、建物の大きさや数もこれまでどおりとはいかないよね。

さらに、医療や福祉にたくさん費用がかかる中、働く人(生産年齢人口)が減っていくと、納められる税金も減ることになるし、そうなる施設整備に使える財源はますます少なくなるかもしれないんだ。

